



会員発エコ商品情報

次回掲載情報
(商品・サービス)
募集中!

安全安心のお茶作り 「無農薬栽培朝宮茶」

かたぎ古香園

伝経大師最澄が仙薬として中国からお茶の種を持ち帰ってから1200年、この地「信楽朝宮」に蒔いて下さり、その後絶えることなく茶業を伝承しております。近代農業の波を受け農業・化学肥料が当たり前の世界から自然環境・残留農薬の危惧を感じ、今から40年前に自ら無農薬栽培に取り組みました。数々の試練を乗り越え自然の力を受けて、安心で環境にやさしいお茶を栽培しております。そんな中滋賀県の「ココール マザーレイク・セクション」に朝宮紅茶「紫香楽」と本年は「朝宮手づみ煎茶」が受賞できました。これを糧に一層安心なお茶作りに励みますので、今後もどうぞご支援下さいませ。



〈お問合せ〉かたぎ古香園

〒529-1843 滋賀県甲賀市信楽町宮尻 1090
TEL: 0748-84-0135 FAX: 0748-84-0128
E-mail: info@katagikoukaen.com
URL: http://www.katagikoukaen.com/

「薪の石釜で焼いた 天然酵母パン」

石釜パンcafé つむぎ

人と人、人とモノとが温かく優しくつながっている場所でありたい。そして、からだにも心にも優しく美味しいものを召し上がっていただき、小さな幸せの輪がどんどん大きくなっていったら…そんな想いで日々パンを焼いています。

生地には卵やバターを使わず国産小麦ときれいな湧水、塩、自家製天然酵母のみのシンプルな石釜パン。皮はパリッと、中はもっちりの噛みごたえのある食感。カフェで使う食材も含め、できるだけ近場のもの、できるだけ無農薬のもの、できるだけ手作りのものを提供したいと考えています。



〈お問合せ〉石釜パンcafé つむぎ

金・土・日・月 営業 11:30~18:00
〒527-0207 滋賀県東近江市夢畑町425-1
TEL: 050-5802-9481
E-mail: tetsupuro123@e-omi.ne.jp URL: tumugipan.jimdo.com

編集後記

昨年の4月から滋賀県の多くの食品スーパーでレジ袋の無料配布が中止されました。現代の大量生産・大量消費・大量廃棄のサイクルを止めるためには、消費者が必要なものを必要な数だけ選ぶことが大切です。レジ袋と同様に割り箸も、それら自体が環境に悪いのではなく、あって当たり前であるという現状に一步立ち止まる必要があるのです。このレジ袋の取組が多くの人への「一歩立ち止まるきっかけ」になればと思います。

“きっかけ”といえば、12月に行われた「エコ☆フェスタ」でも消費者の皆さんとお話をしたり、買ってもらったり、食べてもらうことでグリーン購入を直接伝えるきっかけとなりました。私はワークショップのお手伝いをさせていただいたのですが、子どもたちもたくさん来ていて、楽しくエコを体験できたと思います。

私たちグリーンコンシューマーサークルの役割は、グリーン購入をなぜ行うのか、どう行えばいいのかを広く伝えることだと思います。そのために大学の生協にエコ商品を提案したり、小学校や彦根市の商業施設などで出前講座や買い物ゲームを行っております。より多くの人にグリーン購入を知って、実践してもらうために学生サークルとしてできることを増やしながら、これからも頑張ります。

(幹事/滋賀県立大学グリーンコンシューマーサークル 村瀬 文映)

去る12月15日に開催しました「三方よしのエコ☆フェスタ」には、たくさんの方々にご来場いただきありがとうございました。

今回、初めて開催するイベントであったことから、当日の予測がつかない状態でしたが、大きなトラブルもなく、約800名という大変多くの方にご来場いただき、盛況のうちに終えることができました。ご協力を賜りました実行委員の皆様、出展者の皆様に深く感謝申し上げます。

今回の「三方よしのエコ☆フェスタ」は、「環境に熱心に取り組んでおられる事業者から環境に配慮したものを買う」というまさにグリーン購入を消費者に実践していただける場であったとともに、盛りだくさんの催し物を通して、「おいしく食べる」「楽しく遊ぶこと」から身近なエコを感じていただけた充実したイベントとなりました。

ご来場いただきました皆様には、新鮮な滋賀県産の農産物、エコな日用雑貨品、そして暮らしの中で簡単に実践できるエコな暮らし方のヒントをたくさんお持ち帰りいただけたのではないかと思います。また、出展者の方からは、環境への取組や商品を直接PRでき、また交流の場となったという声をたくさんいただきました。

これからも様々な機会を通して、グリーン購入の輪をどんどん広げていきたいです。

(幹事/滋賀県 循環社会推進課 中川 優子)



編集・発行/一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階 TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586
Eメール: sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL: http://www.shigagpn.gr.jp/



滋賀 GPN News



第25号 2014年3月
滋賀グリーン購入ネットワーク
ニュース



環境への負荷が小さい商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク

法人化1年目の滋賀GPN!

2013年4月、滋賀グリーン購入ネットワーク(滋賀GPN)は一般社団法人となりました。法人としてより責任ある体制になり、12月には初めて一般消費者向けのグリーン購入・3R啓発イベント「三方よしのエコ☆フェスタ」を滋賀県との共催により開催いたしました。本号では、そんな2013年度の活動を振り返ります。

10/24~26 びわ湖環境ビジネスメッセ2013に
滋賀GPN「グリーン購入ひろば」として会員と共に協働出展。
(詳細本紙 P2 □)



10/24 「グリーン購入フォーラムin滋賀」開催。
持続可能なモノづくりをテーマに事例報告・
パネルディスカッションを実施。(詳細本紙 P3 □)



12/15 買ってよし! 食べてよし! 遊んでよし!
「三方よしのエコ☆フェスタ」開催。
(詳細本紙 P4~5 □)



1/29 事業所見学会 (株)ダイフク滋賀事業所、
(株)エコパレット滋賀を見学。情報交換会も同時開催。
(詳細本紙 P6 □)



グリーン購入を実践する中小企業者の登録制度「GPプラン滋賀」。
支援プログラムとして、年間でグリーン購入実践講座を8回、
基礎研修会を9回実施しました。写真は2/4大津会場の様子。



このほかにも、滋賀県と県内の全市町で実施した「びわ湖一周『買うならエコ!』リレー」(6月~2月)、県内小売事業者への「レジ袋無料配布中止およびグリーン購入に関する取組実態調査」(6月~1月)、県と共催の「事業所食堂の『地産地消』推進フォーラム」(11月22日)など、様々な事業を実施いたしました。

INDEX

- 法人化1年目の滋賀GPN! 1
- びわ湖環境ビジネスメッセ2013
滋賀GPN会員連携!「グリーン購入ひろば」出展 2
- グリーン購入フォーラム2013 in 滋賀 3
- 第15回グリーン購入大賞 3
- 買ってよし! 食べてよし! 遊んでよし!
三方よしのエコ☆フェスタ 4

- 事業所見学会報告 6
- 新規会員からひとこと 6
- 滋賀GPN会員でつながりレポート
大阪ガス(株)滋賀事業所 7
- 会員発エコ商品情報 8
- 編集後記 8



びわ湖環境ビジネスメッセ2013

●実施日：2013年10月24～26日 ●場 所：長浜ドーム(長浜市)

長浜ドームで行われたビジネスメッセに「グリーン購入ひろば」として今年も出展しました。また、その初日には「グリーン購入フォーラム2013in滋賀」を長浜バイオ大学で開催いたしました。ひろば・フォーラムにご来場いただきました皆さま、講師・パネリストの皆さま、出展者の皆さま、そしてスタッフとしてご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

Report 1 滋賀GPN会員連携！ 「グリーン購入ひろば」出展

●参加者：滋賀GPNミニセミナー(延べ37回開催) 約670人
グリーン購入ひろば内クイズラリー 約500人

●グリーン購入ひろば協働出展団体
京セラ(株)滋賀蒲生工場・滋賀八日市工場、上西産業(株)エースウエア営業部
前出産業(株)、滋賀県会計管理局管理課、滋賀県循環社会推進課
(一社)滋賀グリーン購入ネットワーク

「資源循環」をテーマに協働出展、ブース出展各社が環境の取組や製品を展示しました。ひろば内には7箇所のラリーポイントを設け、グリーン購入について知っていただきながらひろば内をまわっていただきました。



昨年度に引き続き、会員が講師を務める「ミニセミナー」を開催しました(延べ37回)。写真は碧いびわ湖さんの発表時の様子です。

●ミニセミナー発表者
(株)アクロス商事 滋賀営業所、(株)伊藤園、京セラ(株)滋賀蒲生工場・滋賀八日市工場、
(株)ケレスたなか、(株)サンエー、上西産業(株)エースウエア営業部、新江州(株)、谷口印刷(株)、
前出産業(株)/新のある暮らし方研究所、滋賀県会計管理局管理課、
滋賀県温暖化対策課、滋賀県循環社会推進課、滋賀県地域エネルギー振興室、
滋賀県食のブランド推進課/こだわり滋賀ネットワーク、東近江市、NPO 碧いびわ湖、
NPO法人日本食品リサイクルネットワーク、(一社)滋賀グリーン購入ネットワーク



「グリーン購入ひろば」内にて、
会員によるブース出展も実施しました。

●ブース出展者
谷口印刷(株)、(株)日本エナジー研究所、
NPO法人おつ環境フォーラム、
滋賀県産間伐材有効利用促進グループ、
滋賀県食のブランド推進課、
グリーン購入大賞受賞団体として(株)滋賀銀行

メッセ会場に出展する会員ブースにて、
「会員ロゴマーク」の一斉掲示も
行ないました。



出展会員の声

我社は、グリーン購入ひろばに出展、「針葉樹の切捨て間伐材を主燃料として使える蓄熱式薪ストーブ」の展示をいたしました。来場者の皆さまにこのストーブについて知っていただくために、ひろば内で実施された「クイズラリー」を活用させていただきました。

また、展示できたこともさることながら、私として一番良かったのは、同じひろば内で実施された「ミニセミナー」です。他の会員の皆さまの発表を聞かせていただくことで、自分たちが関わっている以外の環境分野のことがよく分かり、今後の環境にやさしい製品づくりや、会員同士の連携ができることを確信できました。「グリーン購入ひろば」最高!

前出産業株式会社 代表取締役 前出 博幸さん



前出産業(株)ブース
右側が蓄熱式薪ストーブ

Report 2 グリーン購入フォーラム2013 in 滋賀

「持続可能な社会に求められる、新しいモノづくりのあり方とは」

●実施日：2013年10月24日(木) 14:00～16:20

●場 所：長浜バイオ大学 命北館(長浜市) ●参加者：135名

コーディネーター：滋賀県立大学 工学部 材料科学科 教授 徳満 勝久さん
パネリスト：TOTO(株) ESG推進部長 重永 佳己さん
(株)ノビア滋賀工場 ISO事務局 坂本 公美恵さん
(株)伊藤園 取締役CSR推進部長 笹谷 秀光さん
滋賀GPN「ゼロエミ研究会」リーダー (旭化成住工(株)本社滋賀工場) 松宮 秀典さん
滋賀県 商工観光労働部モノづくり振興課 主席参事 前川 昭さん



重永：「TOTOグリーンチャレンジ」を軸として再生材の使用、3R・省エネを考えた製品・梱包資材の開発等に取り組んでおり、一部地域では使用済み製品のリサイクルも始めている。「陶器くず」は多くの自治体でリサイクル認定のカテゴリーに当てはまるものが無い中、滋賀県はリサイクル製品認定制度「ビワクルエコシップ」の中でいち早く認定をされており、当社滋賀工場でも陶器くずの舗装用骨材としての再生活用が、県内企業の協力の元に進んでいる。

坂本：日本全国の代理店・販売店を通じて化粧品の容器を回収し、パレットやリサイクルプランターに再資源化している。自社で空容器の再資源化の方法を模索していた時に滋賀県内の産・官・学の連携で行われているリサイクルプランターの取組を知り、弊社もそこに参加している。今後は容器の回収率を上げていくことと、プランター以外の商品への水平展開を考えている。



笹谷：お茶の製造工程で排出される茶殻の一部を、ダンボールやあぶらとり紙、封筒等に配合し再資源化している。取組のためには様々なステークホルダーとの連携が必要で、「環境・人・社会、この3つにやさしい企業」が当社の方針。良い活動をしていると思っていただければ、商品の購入につながり、結果、自社事業にも跳ね返ってくる。人々とのつながりにより共有価値の創造につなげていく、こういった産・官・学の連携できる場はプラットフォームとして貴重。

松宮：東近江地域の滋賀GPN会員5社の連携で、廃棄物の協働回収を始めた。1社だけでは量が少なすぎでリサイクルが困難な廃棄物でも、数社が連携することでリサイクル・有価物化が可能になる。廃棄物の削減とともにコストメリットがあることもポイント。今後は品目を増やしたり、他の地域での水平展開を考えていきたい。また、このように会員同士が連携できるのは滋賀GPNの強みだと思う。



前川：今後は有限な資源を国内でうまく循環させていくことが重要で、ここにビジネスチャンスもある。滋賀県は全国では珍しく、出納局がグリーン購入を始めた県。また、琵琶湖環境部のリサイクル製品認定制度や商工観光労働部が技術開発に関する補助金の制度等で後押しをしている。技術を活かして商品開発が進み、滋賀県から広がると良い。行政の制度もうまく使っていただければと思う。

徳満：プラスチックリサイクルの技術開発に成功し、廃プラを回収してリサイクルプランターとして地域で販売する仕組をつくった。次はこのプランターに、作業所の方に花を植えていただくという環境と福祉の双方がwin-winになる取組「HANAWAプロジェクト」を広げている。企業・行政それぞれ単体ではできないことも、産・官・学が連携することで進めていける。この機会にぜひ参加し、活用していただきたい。



第15回グリーン購入大賞 県内では(株)滋賀銀行が大企業部門にて『大賞』を受賞!

(発表：2013年10月15日 主催：グリーン購入ネットワーク)

今回の受賞では、滋賀銀行独自の「環境格付」に応じて金利を優遇して融資する「琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」の継続的な取組や、環境格付とは別に全国の金融機関初の「生物多様性格付(PLB格付BD)」の実施等、「環境金融」の普及拡大が評価されました。

(株)滋賀銀行は今回で4度目の受賞になります。

Topics

Report 3

買ってよし! 食べてよし! 遊んでよし!

素敵なエコ
大集合!

三方よしの『エコ☆フェスタ』

●開催日: 2013年12月15日(日)
●場 所: ピアザ淡海(大津市)

「エコ☆フェスタ」を終えて

滋賀GPN『三方よしのエコ☆フェスタ』実行委員会 委員長 藤田 豊
(滋賀県生活協同組合連合会 事務局長)

このイベントは、県民を対象に、企業・行政・団体が協働し、グリーン購入と3Rの普及にむけてライフスタイルでの工夫を発信・広報するという、滋賀GPNとしては初めての試みでした。来場者の皆さんはもとより出展参加された方々も含め、それぞれの家庭や職場・学校などで、今回見、聞き、体験したことがトピック(話題)となり、イベントの主旨が広がり、実践できれば、成功と評価できるものと思っています。

来場者数810名、アンケートに見るマイバッグを持参いただいた方はその85%と高く、また、参加して「よかった」と答えていただいた方は78%で、開催主旨をご理解いただいての参加であり、比較的高い満足度を示したと受け止めています。

実行委員会の立ち上げが9月5日、以後、5回の話し合いの機会を持ち、本番を成功裡に終えられたことは、

土屋会長、実行委員の皆さまをはじめ、事務局スタッフの方々のリードと、頑張りによるものと感謝申し上げます。フェスタ当日においては、ご挨拶に駆けつけていただきました嘉田知事、横浜からお越しいただき、「3R教室」で登壇いただいた戸川孝則さん、明るく軽快な司会で会場を盛り上げていただいたe-radioの井上麻子さんをはじめ、ステージ、ワークショップ、販売・展示ブース出展それぞれでご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。そしてなによりも寒風吹きすさぶ中をご来場いただいた皆さまに大感謝です。

今後につなぐ第1回目となることを願って、改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



ステージプログラムから ミスターリサイクルの「知って得する3R教室!」

横浜市資源リサイクル事業協同組合 戸川 孝則 さん

私たち一人ひとりにできる環境行動のひとつに「3R」があります。3Rとは、リデュース、リユース、リサイクルのことです。「リサイクル・ショップ」では、不用品を集めて販売したりしていますが、あれは本当は「リユース(再使用)」なんです。リサイクルは再資源化、「原料・材料としてもう一度使うこと」だということを頭の隅に置いておいてください。

では、リサイクルするために、なぜ「分別」が必要なのでしょう?答えは簡単です。例えば、段ボールはリサイクルされて段ボールに、牛乳パックはトイレトペーパー、雑誌は紙箱になるのですが、それぞれ異なる工場でリサイクル(再生処理)されます。そのため、それぞれ違う工場に運ばなければならない。だから、分別することが必要なんです。

それから、3Rの中で一番大切なのはリデュース(発生抑制)です。つまり「買い過ぎない」ことが大切。ポイントは、買い物の前に牛乳1杯、バナナ1本食べてから行くこと(笑)!そうすることで必要なものだけを買う(足るを知る)ことができますよ。

終了後の戸川さんのコメント

「三方よしのエコ☆フェスタ」にお声掛けいただきありがとうございました。また、多くの皆さまの前でお話しする機会をいただいたことに感謝いたします。

横浜市では平成17年に燃やされるごみを30%削減する「横浜G30」という取組が始まり、その時に作った話が今回のプログラムの基になっています。今回は分別ルールを大津市のものに変更してお話ししましたが、分別の呼び名は若干違って、基本的な「リサイクルにはなぜ分別が必要なのか?」や「リデュース、リユース、リサイクルの3Rの順番」は、日本全国変わりません。私の話が滋賀県の3Rの推進に少しでもお役にたてば光栄です。

販売ブースでは、県内産の食材を使ったお弁当や総菜、パン、調味料等の他、琵琶湖のヨシを使った文具や間伐材製品等、県内に流通する様々なエコ商品の販売が行われました。

出展者からは「関心のある方に紹介ができて良かった」、「GPNの仲間としての一体感と、達成感を感じられた」などの声が聞かれました。



エコメモ帳などの販売と缶バッジ制作をされた、ねっこ協働作業所ブース。



JA YOUTHの販売ブース「湖国マルシェ」。朝採りの新鮮野菜やお米が所狭しと並んでいました。

ワークショップは、会場内の8か所で行われました。親子連れでの参加も多く「子供との交流がはかれた」、「楽しく学べた」などの感想をいただきました。



近江鉄道ゆうグループによる「エコな魚つりゲーム」。琵琶湖にどんな魚がいるか、遊びながら学べます!



循環型社会創造研究所えこらによる「ハンガリーのエコなお菓子づくり」体験教室。



もちつき大会も2回開催。来場者によるもちつき体験には子どもたちも参加し、大盛り上がりでした。



滋賀県キャラクター「キャプティ」も大活躍!

出展会員の声

JA青壮年部の存在や、地産地消・地元野菜の新鮮さ、おいしさをアピールできる機会を与えていただき、ありがとうございました。また、終了後に「近江の新鮮な野菜が買えてよかった」「新鮮な野菜がうれしく、たくさん買いました」等のメッセージもいただき、うれしかったです。ともすれば理屈っぽくなる環境というテーマを、楽しいイベントを通して一般の方に発信できたことが良かったと思います。

滋賀県農業協同組合中央会 農業対策部 中栄 重雄さん

来場者アンケートより

- 地産地消がエコにつながることに初めて気づきました。(40代 女性)
- クイズラリーでエコのことが知れた。(20代 女性)
- 地球の今の問題がわかってきたかもしれません。(10代 男性)
- 普段の生活に気を付けるようにしようと思いました。(30代 女性)
- エコな時代、大事な知識が身につきました。(30代 男性)
- 初めて知ったことがありました。(10代以下 女性)
- こういうイベントをしないと、なかなか考える機会がありませんね。(50代 男性)
- 無駄な資源を使わないよう気をつけようと思った。(50代 女性)
- 毎年続けてほしい。(40代 女性)
- お菓子づくりを親切丁寧に教えていただき見事できあがりでした。子供との交流もはかれました。(40代 女性)



事業所見学会報告

- 開催日：2014年1月29日
- 参加者：33名

プログラム

- ①(株)ダイフク滋賀事業所 施設見学、説明会
- ②情報交換会
- ③(株)エコパレット滋賀 工場見学、説明会

今年度は県内の再生エネルギー・再資源化施設を見学、情報交換会では会員4者（(株)一番、(株)ラゴ、滋賀GPNゼロエミ研究会、滋賀県立大学廃棄物パスターズ）からの情報提供があり、活発な意見交換が行われました。



当日参加者による情報交換会の様子



(株)ダイフク滋賀事業所 滋賀県最大級のメガソーラー施設見学



(株)エコパレット滋賀工場見学の様子

参加会員の声

(株)ダイフク滋賀事業所様のメガソーラー施設はもちろん、工場全体の規模の大きさに改めて驚かされました。さらに、その自然豊かな工場敷地内で生物多様性保全にも取り組まれており、熱心な取組の姿勢を感じました。(株)エコパレット滋賀様では廃プラの再生処理・パレットの製造工程を拝見し、普段の分別の大切さについて再認識することができました。リサイクル品を活用しながらも、安価で、万全な品質管理のもとパレットを出荷されており、こういった商品が多くの方に認知・評価されると良いと思います。

また、情報交換会の中でも様々な情報提供があり、特に東近江地区の滋賀GPN会員が連携して廃棄物削減に取り組んでいる「ゼロエミ研究会」の取組が素晴らしいと感じました。

夏原工業株式会社 営業課 平井 友康さん

新規会員からひとこと

2013年8月10日から2014年2月28日までの入会者

NPO法人 おおつ環境フォーラム

理事長 森口 行雄

大津市との環境パートナーシップ組織を昨年3月NPO法人としました。市が策定した「アジェンダ21おおつ」の実現を使命としています。

(株)HONKI

代表取締役 石川 朋之

企業の採用・学生の就職支援、組織の人財教育(研修等)を手掛けています。持続可能な地域社会づくりに本気で取り組みます!

(株)キャムズ

代表取締役 太田 雅章

獣害防止柵・獣害対策製品の開発、販売を行っています。動物と人間が共存できる環境、さらに地球にやさしい環境創りを目指します。

Maxwood

代表 回測 享治

薪ストーブ専門店です。針葉樹を主燃料とする小型蓄熱式薪ストーブの研究開発を行い、持続可能なエネルギーの普及に努めています。

日本エコ照明(株)

業務部 部長 上田 敏博

次世代蛍光灯CCFL照明の製造販売を行っています。地球にやさしく、人にもやさしい省エネ照明で環境負荷低減に取り組みます。

山岡ヤマゼン(株)

総務部長 三好 君雄

お客様が使っているプラスチックパレットやコンテナなどを洗浄してお返しする環境に配慮した事業を行っています。

Relay talk

滋賀GPN会員でつなぐ

リレートーク>>>

大阪ガス株式会社
滋賀事業所

滋賀コミュニティ室長 小嶋 新一



ガスコージェネレーションシステムの一例
「燃料電池エネファーム」

大阪ガスグループは、近畿2府4県への都市ガス供給をはじめとするエネルギー事業など、各種事業を幅広く展開しております。エネルギービジネスに深く関わっているがゆえに、当グループにとって環境保全は極めて重要な使命です。自らの事業活動における、温室効果ガス削減や資源循環(3R)といった活動。また、お客さま先では、環境にやさしい天然ガスの普及・拡大、燃料電池をはじめとするガスコージェネレーションシステムの開発・普及、再生可能エネルギーの導入推進。さらには、生物多様性の保全といった活動にも積極的に取り組んでおります。

こうした様々な活動の一つとして、大阪ガス滋賀事業所にて私が日々取り組んでいるのは、学校へ出張して行うエネルギー環境授業です。次世代を担う小中学生の皆さんに、エネルギーや環境について詳しく知っていただいたり、じっくり考えてもらう機会をご提供できることは、地球環境問題が大きな課題となっている今の時代、非常に重要なことであると考えております。

2012年度には大阪ガス全体では、近畿2府4県で計1,235回の出張授業を行ないました。滋賀県内でも、日々北へ南へと足を運ばせていただき、たくさんの学校で、たくさんの生徒さんとお話をさせていただいております。また、学校だけでなく各種イベントにも出向かせていただいております。昨年12月に開催された「三方よしのエコ☆フェスタ」でもステージイベントとして、天然ガスにまつわる実験ショーをさせていただく機会をいただきました。子供さんやそのご家族の皆さまに、楽しみながらエネルギーや環境について考えていただくことができたのではと思っております。



エコ☆フェスタステージイベント
「大阪ガスのエコ・サイエンスショー!」



小学校での出前講座

大阪ガスグループでは、こうした様々な活動をグループ全体で続けていくことにより、今後とも持続可能な社会の発展に貢献して参ります。

今回は、近江鉄道株式会社さんをお願いいたします。

※出張授業は年間でお受けできる回数には限りがあります。

大阪ガス株式会社 滋賀事業所

滋賀県草津市西大路町5-34
TEL: 0120-8-94817 (お客さまセンター)
<http://www.osakagas.co.jp/>

現会員数：471 (2014年2月28日現在) [企業408、行政21、団体42]